

JSAF SR Category 3(2002)

SR	タイトル	チェック項目	Qty	Check	推奨	備考
1	2	基本規定				ORCスペシャルレギュレーション、そして基本規定を知っている
1	2	基本規定				上記をクルーに周知徹底しているか。
2	3	a	基本条件			適切な機能を有し、定期的に確認し、即座に使用できる場所にあり、そのヨットの使用目的、大きさに適合する型式、寸法、容量のものであるか。
2	3	b	基本条件			インサイドバラストの取り付けは強固に固定されているか。
2	3	b	基本条件			エンジンの取り付けに問題はないか。
2	3	b	基本条件			ガスボトル、ストーブの固定はされているか。
2	3	b	基本条件			燃料タンク、清水タンク、その他のタンクの固定はされている
2	3	b	基本条件			バッテリー、整備用工具の固定はされているか。
2	3	b	基本条件			アンカーの固定はされているか。
2	3	c	基本条件			両色灯、船尾灯、3色灯の点灯の確認はしたか
3	1	1	構造条件			強固に建造され、水密な構造になっているか。
3	1	1	構造条件			シュラウドが取り外し可能ではないか。
3	1	2	水密性			ハルは完全な水密で、開口部は即座に基本的な水密を保てるか。
3	1	3	スカントリング			艇は定められた規定に一致して、設計・製造をされていることを知っているか。
3	2	1	復元性			スタビリティインデックス又はLPSの数値を知っているか。
3	4	1	非常出口			2つの脱出口を持ち、一つはマストより前にあるか。
3	5		ハッチ			最大幅より前のハッチは外側に開くタイプであるか。
3	5	a	ハッチ			ハッチは90°ヒールした状態でも水面上にあり、180°転覆しても確実に閉鎖状態を保てるか。
3	5	b	ハッチ			即座に閉じられて、水密であるか。コンパニオンウェイがメインデッキより下に及んでいる構造の場合、開口部の横ではシャーラインまでで水が入らない状態になっているか
3	5	b	ハッチ			ウォッシュボードを開いても艇内に入出力可能か
3	5	c	ハッチ			コンパニオンウェイハッチは内外から強固に締め切れる、流れ止めは付いているか。
3	6	1	a	コックピット		コックピットは信頼に値する堅牢さで、自然排水が可能か。
3	6	1	b	コックピット		コックピットに通じる艇体開口部は強固に閉め切りが可能か。
3	6	1	c	コックピット		ビルジポンプの配水管がコックピット配水管に接続されていない
3	6	1	d	コックピット		コックピットの床はLOAの2%以上、LWLより上方にあるか。
3	6	1	e	コックピット		パウ、側面、中央、スターンのいかなるウエルもコックピットと
3	6	1	f	コックピット		コックピットは後方開口部の面積は最大深さ×最大幅の50%以
3	6	2	コックピット			コックピット容積はSR3.06.2の規格に則った構造となっているか
3	6	3	コックピット			コックピット排水はSR3.06.3の規格に則り製造されているか。
3	7		シーコック			シーコック水線以下の開口部には全部シーコックがバルブが取り付けられているか。(スピードメーター等を除く)
3	8		ウィンチ			シートウィンチはデッキより下に取り付けられていないか。
3	9		マストステップ			マストはステップに固定されているか。
3	11	a	ライフライン			ライフラインは、ピント張られ、SRの指針の支持点の中間で50N(5.1kg)をかけても50mm以上変形しないか。
3	11	a	ライフライン			ライフラインはデッキ上を連続して、効果的に囲んでいるか。
3	11	a	ライフライン			ライフラインの間隔は2.13m以内。(316グレードのステンレスワイヤー)
3	11	a	ライフライン			ライフラインはスタンションの外側を通ってはいないか。
3	11	a	バルビット			ヘッドスティより前方あるパウバルビットの上側のレールはヘッドスティより16インチ以内で閉じているか。
3	11	a	バルビット			スターンバルビットがあるか。(適切なライフラインでもよい)
3	11	a	バルビット			前後のバルビットの一番上のレールは一番上のライフラインより
3	11	a	バルビット			パウバルビットに固定されていないライフラインはパウバルビットの内側にオーバーラップしているか。
3	11	a	ライフライン			上記の場合上段のライフラインとバルビットとの間隔は150mm以
3	11	a	バルビット			レース時はパウバルビットの一番上のレールは確実に閉じておけ
3	11	b	ライフライン			ライフラインの数と垂直方向の開口寸法は3.11表1に則っている
3	11	c	ライフライン			ライフラインはステンレスの縫い線か。
3	11	c	ライフライン			99年1月以降に取り付けられたライフラインはコーティングはとってあるか
3	11	c	ライフライン			ライフラインを張るためのランヤードは十分な強さで100mm以内
3	11	d	ライフライン			ライフラインの材質は3.11表2に則っているか。
3	11	e	スタンション			スタンションの傾き、曲がりのチェックはしたか。
3	11	e	スタンション			バルビットとスタンションのデッキへの固着は完全か。
3	11	e	スタンション			スタンションは最大船幅の5%又は150mm以内の内側になっている
3	11	f	スタンション			スタンション、バルビットの材質は3.11表3に則っているか。
3	12		トーレール			トーレールはマストから前に25mm以上のトウレールがしっかり付いているか。
3	12		トーレール			トーレールはSR3.12のエージ基準に則り取り付けられているか。
3	13		トイレ			トイレはしっかり取り付けられているか、固定されたバケツ
3	14		寝台			寝台は恒久的に取り付けられたものか。
3	15		炊事設備			炊事用ストーブは安全強固に取り付けられており、近づきやすい燃料閉止装置があるか。
3	16	a	飲料水			水タンクは安全強固に取り付けられ、転覆しても急激な漏水がなく、ポンプで汲み出す事ができるか。
3	16	c	非常用飲料水			専用の容器に9リットル以上の非常用飲料水を搭載しているか。
3	17		ハンドホールド			デッキ下にハンドホールドが適切にあるか

JSAF SR Category 3(2002)

SR	タイトル	チェック項目	Qty	Check	推奨	備考	
3	18	a	ビルジポンプ	オープンコックピット以外の艇で、ビルジポンプからコックピットに排水していないか。	-	-	
3	18	a	ビルジポンプ	ビルジポンプが、詰まったときに簡単に整備できる位置に取り付けられているか。	-	-	
3	18	a	ビルジポンプ	ビルジポンプのハンドルに流れ止めが付いているか。	-	-	
3	18	b	ビルジポンプ	ハッチ、コンパニオンウェイをしめた状態で使用できるか。	1	-	
3	18	b	ビルジバケツ	9リットル以上のバケツが2個以上あり、そのバケツにラニヤードが付いているか。	2	-	
3	19	a	コンパス	固定された、修正済みのマリンコンパスがあるか	-	-	磁気型
3	19	b	コンパス	予備コンパスはあるか	-	-	磁気型
3	20		ハリヤード	マストに取り付けられた2本以上のハリヤードがあるか	-	-	
3	22		航海灯	航海灯がセールやヒールによって隠されない位置に取り付けられているか。	-	-	JSAF SR 要参照
3	22		航海灯	航海灯はデッキレベルより上に取り付けられているか。	-	-	JSAF SR 要参照
3	22		航海灯	予備航海灯は有るか、そして電源は別か	-	-	JSAF SR 要参照
3	22		航海灯	航海灯の予備電球はあるか。	-	-	(12m未満/10w、12m以上/25w)
3	23	b	機関設備	船外機の場合、燃料システムは強固に固定されているか。	-	-	個数x 量 L
3	23	c	機関設備	エンジンは(1.8x LWL[m])ノットが( LWL[ft])ノットの艇速を出せるか。	-	-	
3	23	c	機関設備	レース中、毎日充電し、且つ上記最低艇速で8時間以上機走できるだけの十分な量が入る燃料タンクか。	-	-	個数x 量 L 推奨
3	23	c	機関設備	エンジンシステムは荒天影響から適切に保護されているか。	-	-	
3	23	c	機関設備	エンジンスタート専用のバッテリーを有しているか。	-	-	
3	23	c	機関設備	燃料タンクに閉鎖バルブが付いているか。	-	-	
3	23	c	機関設備	内張の無いフレキシブルタンクではないか。	-	-	単層のフレキシブルタンクは不可
3	24	a	通信設備	艇外と連絡の取れる通信設備はあるか。	-	-	HF-SSB、VHF、その他、携帯電話
3	24	a	通信設備	VHFは20w以上の出力が出るか。	-	-	
3	24	a	通信設備	VHFのアンテナはマストヘッドにあるか。	-	-	
3	24	a	通信設備	VHFのチャンネルは、6/8/12/16/71/72/74を備えているか。	-	-	
3	24	b	通信設備	携帯電話は、艇内で電池に充電が可能か。	-	-	
3	24	b	通信設備	携帯電話を水密の状態でするケースを持っているか。	-	-	
3	24	b	通信設備	携帯電話用の外部アンテナを持っているか。	-	-	推奨
3	24	c	通信設備	艇に装備する通信設備の予備アンテナを持っているか。	-	-	SSB; VHF
3	24	d	通信設備	防水仕様のハンディタイプVHFを持っているか。	-	-	推奨
3	24	d	通信設備	気象通報が受けられるラジオを持っているか。	-	-	
3	24	f	通信設備	船位を決められる装置を持っているか	-	-	種類 台数( )
4	1		船体表示	セールのセールナンバーが入っているか	-	-	JSAF SR, RRS 77 付則 G 参照
4	2		木栓	各バルブに適切な使用に耐えうる木栓が用意されているか。	-	-	バルブにテープで固定
4	3	a	ハーネス・関連設備	ジャックスティは左舷と右舷に設置してあるか	-	-	
4	3	a	ハーネス・関連設備	通しボルト、固定されたデッキプレート、若しくはアンカーボルトに取り付けてあるか。	-	-	
4	3	a	ハーネス・関連設備	ジャックスティは1x19/Min5mm直径にステンレスワイヤーか、同等の強度を持つ布製ベルトか。	-	-	20000N(2040kg)破壊強度を持つベルト推奨。
4	3	a	ハーネス・関連設備	1999/1以降取り付けられたステンレスワイヤーのジャックスティの場合コーティングが取り付けられていないか。	-	-	
4	3	b	ハーネス・関連設備	デッキに上がる前にハーネスをクリップできるか。	-	-	
4	3	b	ハーネス・関連設備	ハーネスは最小限のクリップ動作でデッキ上の作業ができるか	-	-	
4	3	b	ハーネス・関連設備	舵やウインチ、マストのすぐ近くにはハーネスをクリップできる通しボルト等で固定されたアイがあるか	-	-	
4	3	b	ハーネス・関連設備	ハーネスは乗員全員が同時にクリップ出来るか。	-	-	
4	4		消火設備	消火器は2個以上で、適切に配置、固定されすぐに使用できる	2	-	
4	5		アンカー	L0A8.5m以上の艇で、適切な大きさのアンカーとチェーン、ラインが搭載されているか。	2	-	艇サイズ注意; アンカーとチェーンはシャックルで繋がれていること。
4	5		アンカー	L0A8.5m未満の艇で、適切な大きさのアンカーとチェーン、ラインが搭載されているか。	1	-	艇サイズ注意; アンカーとチェーンはシャックルで繋がれていること。
4	6		フラッシュライト	フラッシュライトは防水型で十分な光量を持ち、予備電池、予備電球は有るか	2	-	複数
4	7		救急法	救急セット、救急法の説明書を持っているか	-	-	JSAF SR 要参照
4	8		航海設備	フローホーンを持っているか	1	-	個数 x
4	9		航海設備	レーダーリフレクターは対角線の長さが456mm以上、若しくは反射面積が10㎡以上か。	-	-	海面から4m以上の位置に取り付けるのが望ましい。
4	10		航海設備	艇の航海に必要な海図があるか。	-	-	電子海図のみは不可とする。
4	10		航海設備	最新の灯台表はあるか	-	-	
4	10		航海設備	作業用具一式はあるか	-	-	三角定規、デバイダー
4	11		航海設備	水に濡れても破損しにくい安全備品格納表が見やすく表示されているか。	-	-	
4	12		航海設備	測深儀、又は測深索は持っているか	-	-	水深が測定できるものがあればよい。
4	13		航海設備	速度計、又は距離測定儀は持っているか	-	-	
4	14		非常用航行設備	非常用ティラーを持っているか	-	-	
4	14		非常用航行設備	ラットの場合、舵頭に直接取り付けられる予備ティラーを持っているか。	-	-	
4	14		非常用航行設備	取りつけてみた事はあるか。	-	-	
4	14		非常用航行設備	予備ラダー又は代用品を持っているか。	-	-	
4	14		非常用航行設備	代用品の場合、取り付け方は知っているか。	-	-	
4	14		非常用航行設備	ティラーやラダーに問題が起きた時の対処を知っているか。	-	-	
4	15		修理工具・予備部品	スタンディングリギンカッターを持っているか。	-	-	リギンサイズ 要注意
4	15		修理工具・予備部品	その他の工具・材料は十分なサイズの種類があるか。	-	-	
4	16		艇の表示	浮力のあるすべての物に艇名が書いてあるか。	-	-	
4	17		艇の表示	ライフブイ他の非常時に用いる浮力体に平行反射材が付いている	-	-	
4	21	a	ライフブイ	ドロ-グ、自己点火灯の付いているライフブイか、自己点火灯付き ライフスリングが1個以上あるか	-	-	

JSAF SR Category 3(2002)

SR	タイトル	チェック項目	Qty	Check	推奨	備考
4	22	信号燭	信号燭はSOLASグレードで防水容器に格納してあり、3年以内のもの	-	-	JSAF SR 要参照
4	22	信号燭	自己点火灯	1	-	JCI 沿海セット
4	22	信号燭	自己発煙信号	1	-	JCI 沿海セット
4	22	信号燭	火せん	2	-	JCI 沿海セット
4	22	信号燭	発煙信号	1	-	JCI 沿海セット
4	23	ヒービングライン	ヒービングライン長さが15～25mで、ヘルムスマンの手の届くところにあるか。	-	-	スローイングソックタイプを推奨。水に浮くロープ
4	23	コックピットナイフ	ランヤードの付いたナイフがコックピットから手の届く所にある	-	-	
4	24	ストームセール	ストームトライスルがラフ長を40%以下にリーフ出来るメインセールを持っているか。	-	-	
4	24	ストームセール	ストームトライスルは着色はされているか。	-	-	蛍光 ピンク；オレンジ；イエロー
4	24	ストームセール	ヘビーウェザージブの素材はアロマティック系ではないか。	-	-	推奨
4	24	ストームセール	ステーに装着する方法を知っているか。	-	-	ラフグループが使用不可能でも、装着可能か
4	24	ストームセール	装着した事があるか。	-	-	
5	1	ライフジャケット	ライフジャケットは全員分あるか	-	-	
5	1	ライフジャケット	股ヒモ、反射材、ホイッスルは付いているか	-	-	
5	1	ライフジャケット	艇名が書いてあるか	-	-	
5	1	ライフジャケット	白色灯が高輝度ストロボはついているか。	-	-	JSAF SR 推奨 要注意
5	2	セーフティハーネス	股紐はついているか	-	-	JSAF SR 要注意
5	2	セーフティハーネス	ハーネスは全員分あり、全員が保管場所を知っているか。	-	-	ナイフの保持を推奨
5	2	セーフティハーネス	ハーネスラインが2m以内で、胸で外せるタイプの物か	-	-	2mの中間にクリップをつけるか、1mの2本を推
5	3	非常用個人装備	パーソナル高輝度ライト又はストロボを人数分持っているか	-	-	全カテゴリーに推奨する。
5	4	非常用個人装備	フード付き荒天用ジャケットが人数分あるか。	-	-	全カテゴリーに推奨する。
5	5	非常用個人装備	各乗員はナイフを携帯しているか。	-	-	全カテゴリーに推奨する。
5	6	非常用個人装備	各乗員は防水ライトを携帯しているか。	-	-	全カテゴリーに推奨する。
5	5	非常用個人装備	各乗員毎にサバイバルキットを搭載しているか。	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	艇長を含む30%以上の乗員は、安全と緊急の理論と実践上のトレーニングを受けているか。	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	安全器具に関する注意事項と保守 01234	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	ライフラフト	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	ストームジブ	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	火事に関する注意と消火	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	故障と修理	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	荒天航海、クルー手順、操船、ドロークの使い方	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	艇からの転落との防止策と救助	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	他の艇への救助	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	救急心肺蘇生法及び救急処置	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	搜索救難	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	通信	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	天気予報	-	-	全カテゴリーに推奨する。
6	1	トレーニング	落水救助(MOB)の訓練を定期的に行っているか。	-	-	全カテゴリーに推奨する。

赤字は昨年からの訂正又は重要箇所及びJSAF特別規定Manualの参照を推奨する。